

景況レポート

(3月分・情報連絡員80名)

製造業が大幅に悪化

～景況DI値は-67.5～

【概況(全体)】

3月分の県内景況は、前年同月と比較して景況が「好転」したとする向きが3.8%(前回調査6.3%)、「悪化」が71.3%(同56.3%)で、業界全体のDI値は-67.5となり、前月調査と比較し17.5ポイント下回った。

全国及び東北・北海道ブロックともに景況DI値が先月より悪化した。それ以上に本県DI値の下げ幅が大きかったため、全国及び東北・北海道ブロックを下回る結果となった。

【業界別の状況】

新型コロナウイルス感染症の影響により製造業、非製造業ともに各業種で悪化割合が大幅に増加したことで、前月調査を大幅に下回ることとなった。

新型コロナウイルス感染症の発生により、東日本大震災発生時を超える景況悪化となり、その水準はリーマンショック発生時に近づきつつある。ほとんどの業種のDI値が悪化し、新型コロナウイルスの影響の深刻さが窺える。

<全国及び東北・北海道ブロックとの景況DI値の比較>

	秋田県	全 国	東北・北海道
全 体	-67.5	-63.2	-60.2
製 造 業	-75.0	-65.3	-60.1
非製造業	-62.5	-61.6	-60.3

<景況天気図>

項目	業界の景況	売上高	収益状況	販売価格	取引条件	資金繰り	雇用人員
製造業							
非製造業							

【凡例】

快晴 30以上
 晴れ 10以上 30未満
 くもり △10以上 △30未満
 雨 △10未満 △30未満
 雷雨 △30以下

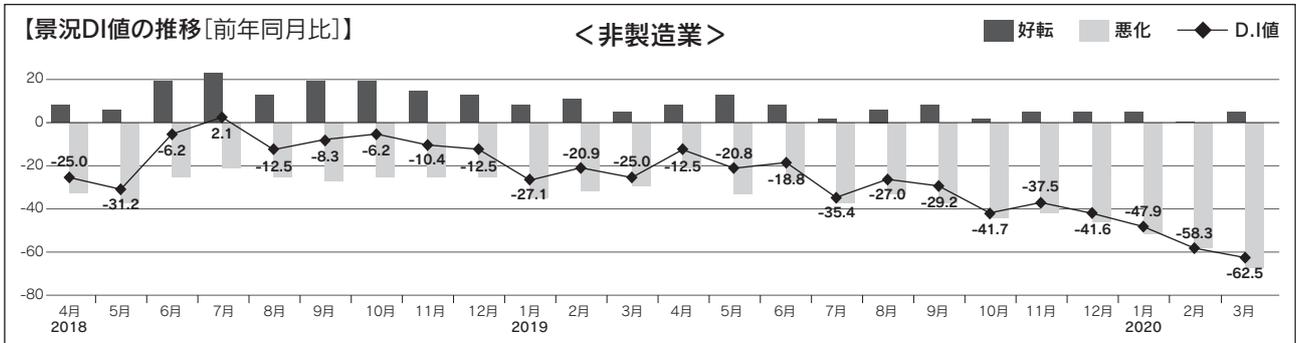
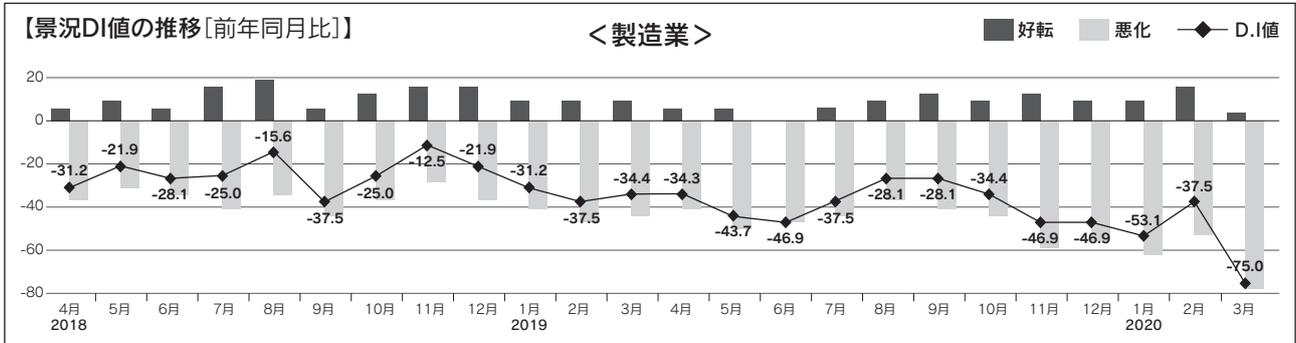
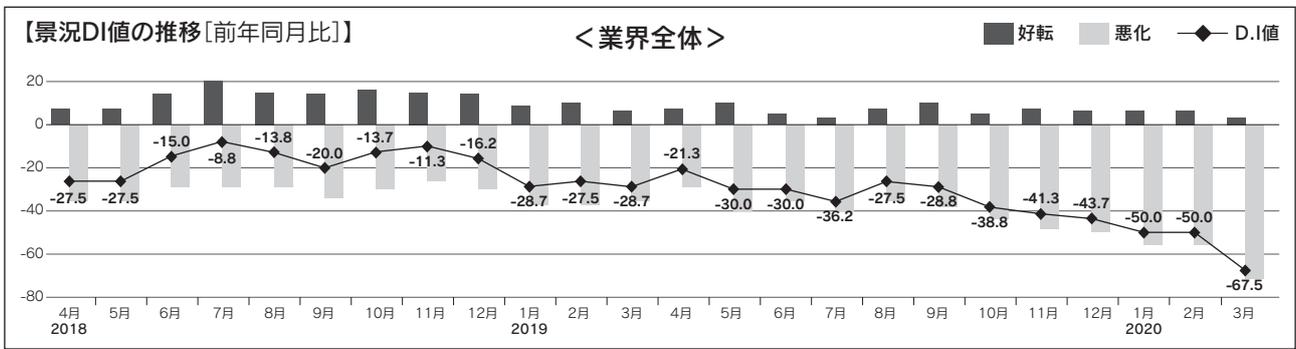
【天気図の見方】
前年同月比のDI値をもとに作成しています。

※DI値とは、Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、増加(好転)したとする企業割合から、減少(悪化)したとする企業割合を差し引いた値です。

【業界の声】 ～製造業～

(回答数：32名 回答率：100%)

食 料 品 (豆 腐)	新型コロナウイルスの影響を受け、飲食店・ホテル、学校給食からの注文は皆無である。スーパーへの売上は落ち込んでいないが、景況は最悪の状況下にある。
食 料 品 (パ ン)	学校の一斉休校により、子どもの昼食用パンの需要が食パンを中心に増加し、一時的に売上が好転したが、現在は平常時と変わらない状況である。学校給食の休止により、3月分の売上がゼロの事業所もあり、給食主体の事業所は収入減となり経営が厳しくなっている。
織 維 工 業 (織 維)	新型コロナウイルスの影響で百貨店、専門店等の売上が30%～60%落ちており、今後の状況によっては倒産業者も出てきそうである。今後の秋・冬物の受注に関しては大幅な減となりそうで、工場の運営も難しい状況である。
木材・木製品 (一般製材)	製品販売量は新型コロナウイルスの影響で、3割程度落ち込むと予想していたが、なんとか持ちこたえ前年同月比では増加となった。商社の営業活動が停止しており、4月以降の製品の受注の見通しが立っておらず、新型コロナウイルスの影響が長引き、製品の動きが停滞すると原木がだぶつくことが予想される。
印 刷	消費税増税に伴う需要の低迷が続いており、受注量は全く回復していない。併せて、新型コロナウイルス感染拡大により、営業活動への制約も増え、材料等を中国から輸入している製品では受注しても納品できない状態にある。イベントの中止、延期による受注減も増えており、受注減少がどこまで続くのか先の読めない状況である。
鉄鋼・金属 (鉄 鋼)	公共工事の新規物件は5～6月頃にならないと動きがない模様。民間工事もここにきて急に冷え込んでいる。特に新型コロナウイルスの影響がこの先どうなるか全く見通しがつかず、先行きが不安である。
一 般 機 器 (金属加工)	受注面では各社の減少率にバラツキがあるものの大半が前年比大幅に減少しており、先行きが見えない。収益も大幅に減少し、資金繰りも厳しくなっている。需要が少ないことから材料価格は、低下傾向である。
そ の 他 (曲げわっぱ)	新型コロナウイルスの影響で、販売先のデパート等の小売店からの納品キャンセルやイベント・実演販売等の中止、各地での展示会・商談会等も中止となり、売上の減少が甚大で最悪の状況である。辛うじて、ネット販売等で売上をつないでいるが、先行きが見えない状況である。今後、資金繰りが厳しくなるのは目に見えており、その対策を考えている。



【業界の声】 ~非製造業~

(回答数：48名 回答率：100%)

卸売業 (商業卸)	新型コロナウイルス感染拡大による影響から、売上が著しく減少している企業がみられる。日用雑貨を扱う企業では、アルコール消毒液の入荷はあるが、マスクは入荷できない状況である。
卸売業 (米麦卸)	令和元年産米の2月末主食用米の販売進捗率は51.7%となり、前年比8%減少にとどまった。これは首都圏で新型コロナウイルス対策として、家庭食が増加したことでスーパーでの販売が好調だったことによるが、反面、外食産業が不振でB銘柄の安い価格の米が30%以上使用減となっている。
小売業 (みやげ品)	新型コロナウイルスの影響によってインバウンド客、国内団体客は全てキャンセルとなり、売上実績は対前年比40%であった。東北全体でも同様の状況のようである。5月、6月の修学旅行や体験学習の予定も全てキャンセルとなっている。
小売業 (花卉)	例年であれば3月は卒業式、送別会で仕事量が増えてくるが、新型コロナウイルスの影響で、卒業式の縮小や中止、謝恩会や送別会、離任式の中止など、最悪の状況となった。また、葬儀についても家族や親族で済ませ、籠花の需要も極端に減少した。
商店街	歓送迎会の自粛などで多人数の宴会が見送られ、飲食店の売上減少が目立ってきている。また、飲食店へ納入していた生鮮品店などへも新型コロナウイルスの影響が出始めてきた。人口減少とのダブルパンチで全業種並びに商店街全体が需要縮小傾向となってきている。(湯沢市)
サービス業 (旅行)	新型コロナウイルスの影響が甚大で、国内は前年同月比90%以上の減少、海外は100%減少の状況にある。新型コロナウイルスの終息の見通しが立たないため、手の打ちようがなく、一部事業所では営業所を閉鎖している。4月～5月分についても受注は全くない。
サービス業 (タクシー)	新型コロナウイルスの影響により人出が減少したことが、旅館・ホテルをはじめ、飲食店、旅行などのサービス業の経済活動の停滞を招いている。
建設業 (一般土木建築)	年度末工事が終了し、新工事発注までの間、工事量は少ない状況にある。新型コロナウイルスの影響は資材調達面で出始めている。
運輸業 (トラック)	一部の工場では稼働が低下しており、その輸送量が減少している。首都圏向けの米の輸送が若干増加している。(中央地区)